2025年度 事業計画書

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

公益財団法人京都市スポーツ協会

2025 年度 事業計画

I. 事業方針

受託施設の半減、指定管理料の減額、諸経費の高騰など、かつてない厳しい経営環境で始まった第5期指定管理期間も、2025年度は3年目となり、いよいよ受託期間の後半に入ります。

この間、本会では「収入増加」「賑わい創出」「スポーツへの貢献」の3つの視点から新たな取り組みを進め、事務事業の変革と組織基盤の強化に努めてきましたが、本年度は、こうした取り組みの総仕上げを図るとともに、来年度に予定される次の指定管理者選定に向けた準備を整える重要な1年となります。

これを踏まえつつ、2025年度は、3年目を迎える高齢者筋力トレーニング普及促進事業について動画による筋トレを中心に更なる規模拡大を図るとともに、新たに右京区役所から「地域における健康づくり事業」を受託し、区民の生活習慣病予防につながる運動プログラムを提供します。

スポーツを通じた市民の健康寿命延伸については、京都府医師会との連携も模索しながら、医療の分野と一体となった全市的な事業展開を目指して取り組んでまいります。

また、昨年度に締結したアーバンスポーツの振興に関する連携協定を踏まえ、新たに西京極総合運動公園に「SPORTS BASE NISHIKYOGOKU」を整備し、各種のアーバンスポーツが集い、スクール活動や体験会、パフォーマンスを披露する場所を提供するとともに、飲食のテイクアウトサービスも実施し、園内に新たな賑わいを創出します。

このほか、キッチンカーの出店や広報支援によるアマチュアスポーツの振興、ラグビーをはじめとしたトップリーグの誘致や学校行事(体育祭)などへの柔軟な貸し出しによる稼働率の向上に注力するとともに、団体担当職員制をしっかりと定着させ、加盟団体との強固な連携のもと、スポーツの発展と障害者スポーツ等、幅広い分野で多くの方々にスポーツを身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。

併せて2025年度は、本会が将来にわたって京都のスポーツ振興と市民の豊かな暮らしに貢献できるよう、この間に高めてきた職員の意識や使命感を最大限に生かしながら、次の指定管理において想定されるPFIの導入に備えた準備も進めてまいります。

Ⅱ. 事業計画

1. スポーツの振興事業（公1）

（1）競技力の向上事業

ア 競技力向上事業

a 競技団体への助成

ジュニアから社会人まで上位選手の競技力を高め、また競技運営に不可欠な審判員の技術を高めることを目的に、競技団体等が実施する強化練習会や審判講習会に対し助成する。

b ジュニア育成事業

オリンピックなどで活躍するスポーツ選手を夢見る京都の子どもたちを対象に、夢をかなえる場を提供し育成するとともに、京都全体の競技力向上を図る事業を実施する。

イ 指導者養成事業

a 講座の実施

スポーツ指導者を対象に、トップアスリートやトップアスリートの指導経験者などを講師に迎え、スポーツ傷害やトレーニング、ケガ予防、栄養学などの指導者講座を実施する。

b 競技団体への助成

競技団体等が指導者の資質向上を目的に独自に実施する指導者研修会などの事業に対し、助成金を交付する。

ウ 京都市民総合体育大会開催事業

スポーツに参加できる機会をつくり、体力向上と健康の保持増進を図り、明るく豊かな市民生活に資することを目的に、広く市民が参加できる大会を実施する。また、大会の一部に「関西マスターズゲームズ」の冠を付ける。

エ 京都府民総合体育大会事業

京都府が定める京都府民総合体育大会開催基準要綱に則り、市町村対抗競技大会や市町村交流種目大会、マスターズ大会に選手を派遣する。

オ 都市間交流スポーツ大会交流事業＜新規＞

昨年度に終了した「都市間交流スポーツ大会」（大阪・神戸・横浜・名古屋・京都の5都市のスポーツ協会が主催する都市対抗形式の競技大会）を継承し、競技団体が主体となって、引き続き、5都市による大会を開催する競技団体に対し、助成金を交付する。

カ 国際スポーツ交流支援事業

競技団体等が実施する諸外国との各種交流大会等を支援することにより、国際的な友好・親善を深めるとともに、競技レベルの向上を図り、スポーツの普及・振興につなげる。

（2）生涯スポーツの普及・振興及び支援事業

ア スポーツ普及事業

スポーツへの関心を高め、スポーツに親しむ「きっかけ」を作るため、多様な市民のスポーツニーズに応えるプログラムを提供し、生涯スポーツの普及・振興を図る。

a 高齢者筋力トレーニング普及推進事業

スポーツの普及を通じて高齢者の健康増進に寄与するため、京都市から受託を受け、65

歳以上の方を対象に筋力トレーニング教室を実施する。特に筋力トレーニングを自宅で継続いただく「継続支援型」において動画プログラムの配信強化を図るとともに、健康度測定会や健康講座など多岐にわたる関連事業を展開することで、参加者の拡大を図る。

b 地域における健康づくり事業<新規>

スポーツの普及を通じて区民の健康増進に寄与するため、右京区役所から受託を受け、参加者が高血圧症など生活習慣病の予防につながる運動習慣を身に着けるプログラムを実施する。実施に当たっては、ダンスやボイストレーニングなど「楽しさ」によって自然に運動習慣の継続を誘うノウハウを持つ民間事業者と連携し、効果的なプログラムを実現する。

c スポーツ講座

子どもから高齢者まで幅広い市民の体力・運動能力を向上させることを目的に、多様な運動・スポーツをテーマとした講座を実施する。基本的には有料講座とするが、熱中症対策やハラスメント対策等、公益性の高い講座については無料で実施し、収支の改善と公益性の双方を意識した講座を実施する。

d 健康運動指導士・健康運動実践指導者認定講習会

一人ひとりのニーズに合わせた運動プログラムが提供できる健康運動指導士及び健康運動実践指導者を対象に、運動・スポーツ・健康づくりをテーマとした講座を実施することで、有資格者の幅広い知識と技能のスキルアップを図るとともに、生涯スポーツの普及・振興の下支えにつなげる。

e 京都ツデーウォーク

京都市、京都府ウォーキング協会との共催により、京都市内の観光名所を巡るウォーキングイベントを開催する。

イ スポーツ活動支援事業

「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の取組として、スポーツ団体やスポーツ活動を支える団体に対し、活動場所の確保、広報支援等を実施し、市民スポーツの普及・振興を図る。

a ビッグゲーム等支援事業

スポーツ団体などが主体となり、全国規模の大会を京都市内で開催する際に、実行委員会への参画や主催団体と連携した広報等の協力を行う。

b スポーツ活動スペース提供事業<一部新規>

昨年度に締結したアーバンスポーツの振興に関する連携協定を踏まえ、西京極総合運動公園内のレストラン跡地(2025年3月末閉店)を整備し、新たにアーバンスポーツを中心とした様々なスポーツ活動が可能な施設「SPORTS BASE NISHIKYOGOKU」を開設する。当施設により、アーバンスポーツのスクール活動や体験会、パフォーマンス披露の場を提供するとともに、飲食のテイクアウトサービスも実施し、園内に新たな賑わいを創出する。

このほか、引き続き、かたおかアリーナ京都2階多目的室「スタジオ ダッシュ」や、たけびしスタジアム京都1階雨天走路において、スポーツの練習会場や講習会等、障害者スポーツやアーバンスポーツ等の幅広いスポーツ振興に資する事業に取り組む団体を対象に、貸出を実施する。

c アマチュアスポーツの普及・振興支援

スポーツ団体などが主催する有観客の大会に対し、キッチンカーの出店や広報支援など、

大会の盛り上げを支援する取り組みを行う。

d 大規模大会開催のための物品保管スペースの貸出事業

e 後援・共催などの名義使用

ウ 全国健康福祉祭選手選考事業

高齢者を中心とする幅広い世代のスポーツと文化、健康と福祉の総合的な祭典として実施される全国健康福祉祭について、京都市代表選手の選考会を実施する競技団体に助成する。

<大会名> 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会
～ねんりんピック岐阜2025～

<開催地> 岐阜県

<期間> 2025年10月18日(土)から10月21日(火)まで

<種目数> 30種目

(3) スポーツ情報提供及び調査研究事業

ア スポーツ情報提供事業<一部見直し>

京都市域を中心に開催される大会情報やスポーツに関する情報を収集し、広く市民に提供する。特に、アマチュアスポーツの振興に向け、大会情報に加えて関連イベントの告知を積極的に行い、新たな観戦者の呼び込みを図る。また、昨年度新たにweb版で開設した「きょうとスポーツオンライン」(旧きょうとスポーツ)については、より旬な京都のスポーツ情報を発信し、京都のスポーツ界活性化につなげる。

<広報媒体>

- ホームページ
- スポーツ情報誌「ダッシュ！」
- 広報誌「きょうとスポーツオンライン」
- SNS (Facebook・Instagram)
- 市民しんぶん(記事掲載依頼)
- コミュニティーボード など

イ 調査研究事業

スポーツ施設の利用者の利便性の向上のため、スポーツ施策等についての調査・研究を行い、市民スポーツの普及・振興を図る。

a 部活動地域移行への貢献・施設の部活動利用

京都市の「市民スポーツ振興計画(スポーツの絆が生きるまち推進プラン)」の推進を目的に創設された「スポーツリエゾン京都」に参画しつつ、将来的な指導者人材バンクの運用を検討するなど、部活動地域移行に向けた研究を行う。

b 民間活力の導入研究

2. スポーツ活動拠点の運営事業(公2)

(1) 地域のスポーツ活動振興事業

ア エンジョイスポーツ

競技団体等が実施するスポーツ教室を本会が支援することで、競技人口の拡大を図り、地域のスポーツ振興につなげる。

イ みんなのスポーツフェスタ

西京極総合運動公園で定着している同フェスタの継続開催に加え、横大路運動公園、吉祥院公園、京都市武道センターにおいて、子どもから高齢者まで幅広い市民が気軽にスポーツや障害者スポーツに親しめるフェスタを開催し、市民の健康増進とスポーツ振興に寄与する。

なお、京都市武道センターにおいては2024年度に続き、武道系競技に特化した「武道フェスタ」として開催する。

開催に当たっては、継続・安定した事業を実現するための財源確保を目的として、積極的に協賛金を募る。

ウ スポーツチャレンジデー

プロのスポーツ選手などトップアスリートから直接指導を受けることで、スポーツに取り組む子どもたちの意欲や技能向上の「きっかけづくり」となる事業を実施する。

エ プロを含むトップレベルのスポーツ団体との連携

京都を本拠とするプロチームなど、トップレベルのスポーツ団体と連携し、トッププレイに身近に触れることができる機会を提供するとともに、観戦・応援をより楽しめる賑わいを創出するなど、「みるスポーツ」の振興に取り組む。

オ 地域との連携協働事業

施設周辺の地域等と連携し、スポーツに親しみ地域の活性化に寄与する事業を実施する。

(2) スポーツ施設の運営事業

ア 施設の貸与

京都市から指定管理業務を受託し、市民の誰もが安全・安心な環境で、様々な形でスポーツに親しむことができるよう、市内のスポーツ施設を適正に維持管理し、貸出しを行う。

a 管理施設の運営

引き続き、利用者の視点に立った柔軟な施設運営を行うとともに、運動会など、平日に実施されるスポーツ関係の学校行事等の利用を促進し、運用面から稼働率の向上を推進する。

また、西京極総合運動公園においては、昨年度に引き続き、主催団体の協力による野球大会開催時のわかさスタジアム外野席無料開放や、空き日程におけるたけびしスタジアム北サイドスタンド一般開放に取り組み、開かれた公園として多くの来園者に楽しんでいただけるよう運営していく。

- 西京極総合運動公園北側区域（陸上競技場兼球技場・補助競技場・野球場）、京都市体育館、市民スポーツ会館
- 横大路運動公園、伏見北部地域体育館、三栖公園、桂川緑地久我橋東詰公園
- 武道センター、岡崎公園
- 吉祥院公園、下鳥羽公園
- 西京極総合運動公園プール施設（京都アクアリーナ）、西院公園

b 太陽光発電屋根貸し制度による環境への取組

岩倉東公園において、京都市の制度を活用した太陽光発電屋根貸し事業を行う。

c 大型映像装置操作サポート事業

専門的な知識が必要となる西京極総合運動公園の大型映像装置（陸上競技場・野球場）について、必要に応じて専門スタッフを手配し大会主催者をサポートする。

d 大規模大会の誘致

今年度の年間予約は確定しているが、次年度以降の誘致に向け、競技団体やプロスポー

ツ団体への働きかけを行う。

e 音楽イベント・グルメフェスの開催<一部新規>

スポーツだけでなく、食文化や音楽文化と融合したイベントを開催することで、新たな賑わいの創出を目指す。本年度は、本来の設置目的であるスポーツ大会の運営に支障をきたさず両立できるよう、考え方の整理と開催ルールの検討を進めるとともに、昨年度に試行実施されたプロバスケットボール開催日の音楽ライブについて、京都市等の関係者と連携して取り組みを進める。

f 多目的利用の推進

施設利用種目として認定されていないニュースポーツなどの利用相談に柔軟に対応するとともに、撮影やドローンをはじめとする多目的利用の推進を行う。

g 会議室等の有効活用

スポーツ以外の会議やワークショップなどでも利用いただけるよう柔軟な運用を図る。

h 野球場の一般開放

わかさスタジアム京都で、ピッチングマシンを活用し、思う存分バッティングを楽しめる事業を目指し、研究・準備を進める。

i わかさスタジアム京都における野球用 AI カメラの貸出事業

昨年度、民間事業者によって設置されたわかさスタジアムの撮影・配信用 AI カメラを活用し、大会主催者等が手軽に本格的な映像を自動撮影、配信可能な環境を提供し、利用者サービスの向上、施設の魅力向上と合わせ、野球をはじめとしたアマチュアスポーツの振興を図る。

イ スポーツ施設の改善等事業

スポーツ施設の安全、快適を確保するため、利用者目線に立った施設運営を行うとともに、京都市と連携して老朽化や安全対策に効果的・効率的に取り組む。

また、「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西」の開催に向け、京都市等と連携して取り組む園内トイレの改修について準備を進める。

ウ 京都府・市町村共同公共施設案内予約システムの運営

京都市からの受託により、インターネットや携帯電話、スポーツ施設に備え付けの端末機によりスポーツ施設の利用予約や空き状況の閲覧が行える「京都府・市町村共同公共施設案内予約システム」の管理運営を行う。

3. 収益事業（収1）

(1) スポーツ施設収益事業

ア スポーツ教室

幅広い年齢層や競技レベルに対応する教室を展開し、参加しやすい料金で満足度の高いプログラムを提供する。また、働き世代を対象に夜間のスポーツ教室を実施し、参加者数の増加を目指す。

イ 自動販売機設置事業

施設利用者への利便サービスとして、施設内に飲料事業者等による自動販売機の設置を行う。また、食品など自販機の取扱品目の拡大を検討し、利用者の利便性向上とさらなる収益確保を図る。

ウ 有料駐車場管理事業

エ 物品の販売・貸与事業及び飲食販売

オ 広告事業

わかさスタジアム京都、たけびしスタジアム京都での屋内広告に加え、公園内に新たな広告設置場所を増設し、収益向上を目指す。

4. その他の事業（他1）

（1）経営推進基本計画に基づく事業

2020年度に策定した経営推進基本計画を着実に実施し成果につなげる。また、事業計画に基づく推進状況について、事業の取組状況や効果等について検証・評価を行う。

なお、現行の計画の期限は2024年度までとなっていたが、2026年度まで延長している。

<基本方針>

- 1 市民のスポーツライフの充実
- 2 スポーツを通じた地域コミュニティの活性化
- 3 京都の新しいスポーツ文化の創出
- 4 自律的な経営

（2）スポーツ表彰事業

永年にわたり市民スポーツの充実・発展に功績があった個人を表彰する。

<功労賞>

競技団体の役員として組織運営に尽力し、スポーツの普及振興に貢献したもの

<優秀サポート賞>

指導者、競技役員、その他競技団体の構成員として、ひたむきな活動を通じて事業や競技運営・発展に特に功績があったもの

（3）賛助会員制度の運用

事業を通じた賛助会員への貢献や、賛助会員拡大に向けた広報を行う。

（4）環境への取組

- K E S（環境マネジメントシステム）ステップ1の推進
- エコステーションや落ち葉の堆肥作りなどの地球温暖化対策
- エコキャップのリサイクル、テニスボールのリユースによる社会貢献活動
- 京都市が行う次世代自動車の充電設備などの積極的な協力
- 太陽光発電屋根貸し制度による環境への取組（再掲）
- 雑がみの分別・リサイクルの推進

（5）職員の資質向上への取組

職員向けのコンプライアンス研修を実施する。また、職員の業務意欲高揚と施設利用者に対するサービスの質を高めるため、各種研修を実施する。

- 環境研修、安全研修（消防訓練など）、接遇研修
- ハラスメント研修
- 専門知識育成のための実施研修 など

（6）会議等

組織運営に必要な理事会、評議員会、専門委員会など各種会議を開催する。

（7）他団体との協力・支援

加盟団体をはじめとする競技団体や、障害者スポーツやアーバンスポーツを含めた幅広いスポーツ団体等との連携を図り、京都市におけるスポーツの振興・普及につなげる。そのための

体制整備として、事務局に団体に対する担当職員制を設け、取組の推進を図る。

また、京都市等が設置する各種の委員会に参画する。

ア 大学との連携

- 京都光華女子大学・短期大学部

イ その他

- 京都マラソン実行委員会
- 京都運動器障害予防研究会
- ワールドマスターズゲームズ 2027 関西京都市実行委員会
- スポーツリエゾン京都
- 健康長寿のまち・京都市民会議
- 市民すこやかフェア実行委員会
- 京都市はぐくみネットワーク
- 京都市と(有)オーバーサンプの連携協定に基づくアーバンスポーツの振興